観光アプリと防災情報の連係 〜安全・安心なまちあるき〜

公立はこだて未来大学 高度ICT演習 観光系プロジェクト はこだてMap+防災班

M1:山田亜美(リーダー), 前田実優

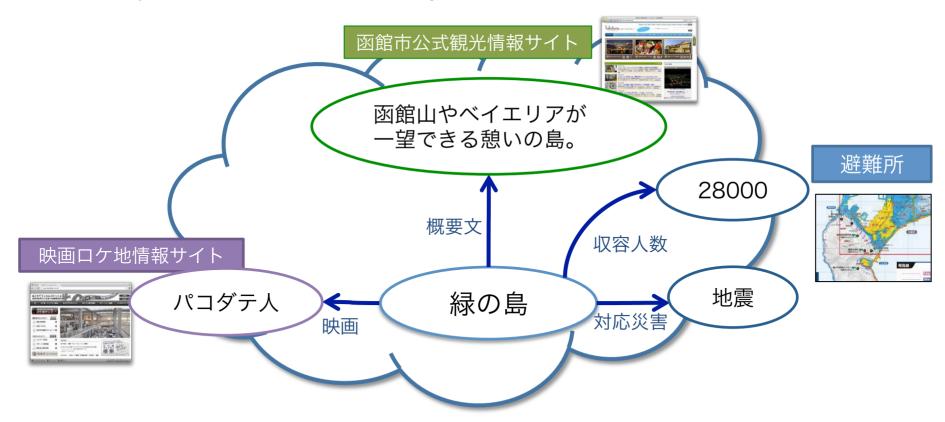
B4:工藤卓也, 吉田匡孝

B2:小関大河, 矢野颯太

B1:横山新

アイデア

- □ 観光アプリと防災情報の連係
- 避難所データのLOD化



背景

- 観光客は、初めての土地で災害が発生すると どこに避難すればよいかわからない
- 普段から使う観光アプリに防災機能を追加することで、災害を想定していない観光客でも災害に対応できる
- □ 平常時からも利用可能な機能にし、防災意識が高まる

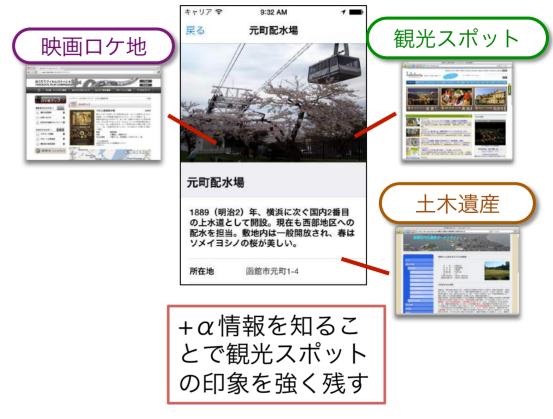
連携するアプリの例:はこだてMap+



観光情報に加えて、映画ロケ地など新たな情報 (+α情報)を発見できる、まちあるきiPhoneアプリ



まちあるきや観光 スポットをアプリ がガイド



はこだてMap+の観光まちあるき機能



まちあるきルート



(ピンを選択)

「<mark>桜の名所</mark>」 としての 元町配水池

観光スポットの 概要文、住所、電話 番号、アクセス、 エリア、映画ロケ地 情報・土木遺産 情報ボタンの表示

観光スポット



映画ロケ地



「映画 Little DJ のロケ地 としての元町配水池

土木遺産



「日本最古の配水池」 としての元町配水池

防災機能の初期案



防災の専門家からのレビュー

- 2014年7月3日、防災の専門家にレビューをしていただいた
- □ 検討したアプリに関してアドバイスをいただいた
- □ 津波避難所、津波避難ビルのデータを提供していた



レビューを受けた結果

- □ 津波ハザードマップの使用について
 - ▶浸水予測はある特定の状況にのみ対応している
 - ▶災害時には津波ハザードマップを使用しない
- □ どの方向を向いているかが重要
 - ▶停電してしまうと暗くて方向がわからない
 - ▶観光客は土地勘が無い
 - ▶進行方向を表示する

防災機能の最終案

- □ 避難所のピンと海抜の表示
- □避難所の詳細情報
- □ 観光モードと避難モードの切り替え
- □ 災害アラート

避難所のピンと海抜の表示



避難所の詳細情報



観光モードと避難モードの切り替え



災害アラート



シナリオ | 観光中(現在地の海抜の表示)





函館に訪れた観光客が はこだてMap+を使って まちあるきをしている 2

ここの海抜 低すぎかも...



現在地の海抜を見て、 津波の影響があるかを 意識する



シナリオ | 災害時(避難モードへの切り替え)

(3)

わっ! 地震だ!



観光中に震度5以上の 地震が発生し、<mark>防災</mark> アラートが来る





通知から避難モードに 誘導されるため、スムー ズに切り替えることが できる

シナリオー災害時(避難所の表示)



津波が来るかも! 高い建物に 避難しよう!



避難モードで、近くの 津波避難場所を探す





地図の表示から、近くに ある津波避難ビルである ラビスタに避難しようと 決めることができる

函館市へのLOD化の提案

□ 2014年12月24日、函館市総務部防災担当の 方々に活動報告と避難所データのLOD化の 提案に訪れた



函館市への提案の結果

- □ 避難所データのLOD化と防災機能の追加に 賛同していただいた
- □ データを公開することは過去に事例がないので 時間がかかる
 - ▶条例改正が必要の可能性もある
- □ 現在、函館市と避難所データのLOD化に向け 活動中

防災機能の実証実験

■ 2015年1月18日に、防災の専門家と学生に 実際にまちあるきをしながら開発した防災機能を 使用してもらった



実証実験の結果

- 被験者は避難所の位置と海抜を参考にしながら 避難所までスムーズに移動することができた
- □ 評価は良好であり、今後の改善に繋がる意見を いただくことができた